



# 小学校の再編整備計画の 答申を受けて今後の方向は

坂本 好教 議員

中に入り、この現状の中積極的に意見を交えて、一つの方向を出すような努力をしたい。

## 総合窓口案内は必要か

**問** 窓口案内の必要性を市長は、私の12月議会の質問の折、貴重な2時間を削減するのはもったいないとか、内部で検討して方向性を出したいと答弁をされたが検討をされたのか。またこの制度は何年から始められ、職員は何回位従事するのか。

**市長公室長** 平成14年度から開始した。一人当たりで年間4回弱。1日を4つ

のブロックに分け、大体2時間程度。内部での検討については、政策会議等ではまだ行っていない。

## 市が保有する車両の現状は

**問** 市の車両の、保有台数は。またガソリン価格の交渉はどのようにしているか。  
**会計課長** ガソリン車74台、ディーゼル車20台、LPガス2台、合計96台。ガソリン価格の交渉については指名競争入札をするのが本来ではあるが、現在は随意契約で、17年度から3カ月ごとに単価契約をしている。

# 小学校再編計画を問う

貝田 義博 議員

たい。学校再編に関係なく地域づくりに取り組み、活性化を図る必要がある。

## 児童数はどう見込む

**問** 5年後の児童数の推計が出されているが、井田団地には現在、子どもが32人ほど入居している。将来的に見れば住宅施策などで

児童が増える要素もあると思うが、人口推計はどう議論しているのか。

**教育部長** 現段階では出生者数から割り出している。社会的な要素の人口推計もしたかったが、審議会では推計には至っていない。答申後の市の決定段階では、新たな井田団地の増加分など加味した上で児童数を見ていく。

**問** 「広報ちくご」2月号に小学校再編整備計画の答申が大きく載っているが、22年度に下妻小、古島小、二川小が統合された時の児童数が載っている。統合されるのか。  
**市長** これを一つのたたき台として、住民の皆さん方がどういう反応をされるのか、どういう問題点を出して来られるのか、しっかりとパブリックコメントやアンケートを聞いただけでは足りない取り組みをしていかなければならない。それぞれの地域の皆さんと、私自身もその地域の



古島小学校

※(編集部注)  
パブリックコメントとは「パブリックコメント」の略。筑後市では「筑後市パブリックコメント(市民意見提出)手続実施要綱」に基づき、市民に意見を求められています。

**問** 学校再編審議会の計画案では、南西部の下妻、古島、二川小を1校にするとして「広報ちくご」2月号で市民の意見を求めている。小学校区は、地域コミュニティ形成面で重要であり、できる限り統廃合はしないがよいと思うがどうか。また、案はどのような観点と議論の中から出されてきたものであり、小学校再編が地域の活性化に与える影響をどう考えるか。  
**市長** 矢部や星野村などでは、やむを得ず統廃合に追い込まれてきた面があるが、当市はまだ若干余裕があるのも事実。答申後に地域の人々とも意見を交えて方向性を出したい。  
**学校教育課長** 子ども達が、より良い環境のもとで教育を受けられる学校規模を検討、1学級当たり20〜30人が適正と考え議論している。



二川小学校

## まちづくり課長

基本的には、学校再編とまちづくりは切り離して考えてもらい